



マックス株式会社

本社・営業本部 〒103-8502 中央区日本橋箱崎町6-6 TEL(03)3669-8121代

支店・営業所	
札幌支店	〒060-0041 札幌市中央区大通東6-12-8 TEL(011)261-7141代
仙台支店	〒984-0002 仙台市若林区卸町東2-1-29 TEL(022)236-4121代
盛岡支店	〒020-0824 盛岡市東平高2-10-3 TEL(019)521-3541代
新潟支店	〒955-0081 三条市東第2-14-28 TEL(0256)34-2112代
東京支店	〒103-8502 中央区日本橋箱崎町6-6 TEL(03)3669-8118代
水戸営業所	〒310-0043 水戸市松ヶ丘2-3-27 TEL(029)255-3761代
群馬営業所	〒370-0031 高崎市上大類町412 TEL(027)353-7075代
長野営業所	〒999-0033 松本市笹葉8155 TEL(0263)26-4377代
柏営業所	〒277-0871 柏市若葉297-12 TEL(04)7132-1500代
千葉営業所	〒284-0001 四街道市大目1870-1 TEL(043)422-7400代
千代田支店	〒462-0819 名古屋北区平安2-4-87 TEL(052)918-8619代
静岡営業所	〒420-0067 静岡市葵区幸町29-1 TEL(054)205-3535代
大阪支店	〒553-0004 大阪市福島区玉川1-3-18 TEL(06)6444-2035代
京都支店	〒612-8414 京都市伏見区竹田段川原町195 TEL(075)645-5061代
神戸営業所	〒650-0017 神戸市中央区楠町6-2-4 TEL(078)367-1580代
広島支店	〒733-0035 広島市西区南観音7-11-24 TEL(082)291-6331代
福岡支店	〒812-0006 福岡市博多区上牟田1-5-1 TEL(092)411-5418代
南九州営業所	〒891-0115 鹿児島市東開町3-24 TEL(099)269-5347代

販売関係会社	
埼玉マックス㈱	〒331-0823 さいたま市北区日進町3-421 TEL(048)651-5341代
横浜マックス㈱	〒241-0822 横浜市旭区さちが丘7-6 TEL(045)364-5661代
多摩営業所	〒190-0022 川崎市鶴町5-17-19 TEL(042)528-3051代
金沢マックス㈱	〒921-8061 金沢市森戸2-15 TEL(076)240-1873代
岡山マックス㈱	〒700-0971 岡山市野田3-23-28 TEL(086)246-9516代
四国マックス㈱	〒761-8056 高松市上天神町761-3 TEL(087)866-5599代
マックスエンジニアリング&サービスファクトリー㈱	
本社・高崎サービスステーション	〒370-0031 高崎市上大類町412 TEL(027)350-7820代
埼玉サービスステーション	〒331-0823 さいたま市北区日進町3-421 TEL(048)667-6448代
札幌サービスステーション	〒060-0041 札幌市中央区大通東6-12-8 TEL(011)231-6487代
仙台サービスステーション	〒984-0002 仙台市若林区卸町東2-1-29 TEL(022)237-0778代
名古屋サービスステーション	〒462-0819 名古屋北区平安2-4-87 TEL(052)918-8624代
大阪サービスステーション	〒553-0004 大阪市福島区玉川1-3-18 TEL(06)6446-0815代
広島サービスステーション	〒733-0035 広島市西区南観音7-11-24 TEL(082)291-5670代
福岡サービスステーション	〒812-0006 福岡市博多区上牟田1-5-1 TEL(092)451-6430代

●マックスお客様ご相談ダイヤル(無料) 0120-228-358
月～金曜日 午前9時～午後6時
「ナンバーディスプレイ」を利用しています。

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。



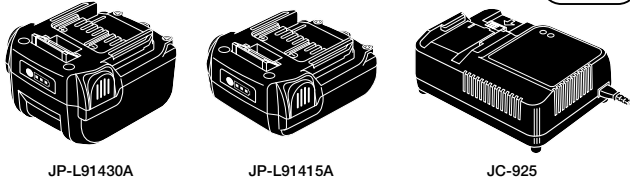
4009581
130828-00/05

マックスリチウムイオン電池パック JP-L91430A JP-L91415A

マックスリチウムイオン急速充電器 JC-925

取扱説明書

プロ用



JP-L91430A

JP-L91415A

JC-925

警告

- 使用前に取扱説明書を読む。
- 使用しない時は、短絡(ショート)防止用バックキャップを端子部に必ずかぶせる。
- 端子部に他の金属を絶対に触れさせない。また、雨や水などにぬらさない。短絡(ショート)して、発熱・発火・破裂・発煙の恐れがあります。
- 火中や焼却炉に絶対に投げ込まない。破裂したり、有害物質発生恐れがあります。
- 充電には指定のマックス充電器と電池パックを必ず使用する。
- 必ず100V電源から充電する。
- 発電機・昇圧器は絶対に使用しない。
- 長時間使用しない時は、充電器の電源プラグを必ずコンセントから抜く。
- マックス指定工具以外には使用しない。
- 揮発性可燃物や引火のおそれがある物とは絶対に使用しない。
- 雨の中、水にかかるとは使用しない。
- 濡れた手で絶対に触れない。
- 絶対に分解・改造をしない。
- 異常を感じたら絶対に使用しない。

●この取扱説明書は常時内容が確認できるような保管してください。
●電池パック・充電器の仕様は機能向上のため、予告なしに変更することがあります。

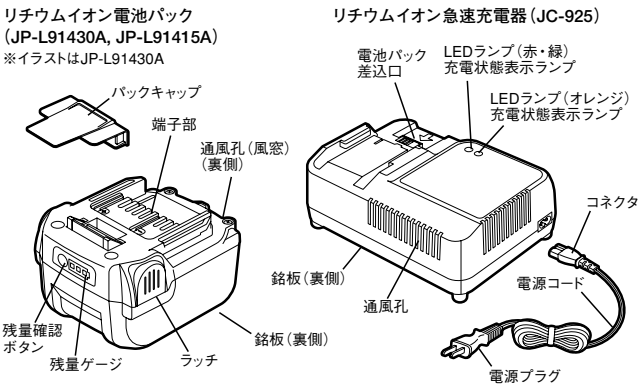
このたびは、マックスリチウムイオン電池パック、マックスリチウムイオン急速充電器をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。電池パック、充電器の取扱いにあたって、この取扱説明書を最後までよくお読みください。使用上の注意事項、使用方法、能力などについて十分ご理解の上、安全に適切にご使用くださるようお願いいたします。

表示の意味について

ご使用上の注意事項は、**警告**、**注意**、**注** に区別していますが、それぞれ次の意味を表します。

- 警告**：誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。
- 注意**：誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容及び物の損害のみの発生が想定される内容のご注意。
なお、**注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 注**：製品、付属品の取り扱い及びメンテナンスなどに関する重要なご注意。

1 各部の名称



2 安全上のご注意

警告

7. ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、可燃性ガス、接着剤などのある場所では充電しない。
・爆発や火災の恐れがあります。
8. 火災の恐れがありますので次のことをしない。
・段ボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニール等の上では、充電しないでください。
・通風孔(風密)のある充電器は、充電中に通風孔をふさがないようにください。また通風孔に金属類・燃えやすい物を差し込まないようにください。
・網ほきりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。
9. 電池パックの液が漏れた時は、素手で液をさわらず、以下の処置をする。
・液が目に入ったときは、失明の恐れがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗った後、医師にご相談ください。
・液が体や衣服に付くと、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分洗い流した後、医師にご相談ください。
・液漏れた電池パックは、直ぐに使用を中止し、火に近づけないようにしてください。
・直ぐにマックスエンジニアリング&サービスファクトリー㈱にお買い上げの販売店を通じてご相談ください。
10. 使用時間が極端に短くなった電池パックは使用しない。
11. 充電中、発熱などの異常に気がついたときは、直ちに電源プラグをコンセントから抜いて充電を中止する。
・そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。
12. 異常を感じたら絶対に使用しない。
・充電器や電池パックの異常を感じたら、ただちに使用を中止し、電池パックと充電器を一緒に、十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリング&サービスファクトリー㈱にお買い求めの販売店を通じ点検をお申し付けください。
13. 充電器の電池パック装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけない。
14. 充電器は充電以外の用途で使用しない。
15. 密閉された狭い場所で使用しない。
・発煙、発火、破裂の恐れがあります。
16. 電池パックを使用しない時は、必ずバックキャップをかぶせる。
17. 充電器を使用しない時はコンセントから電源コードを抜く。

注意

1. 作業場は、いつもきれいに保つ。
・ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 子供を近づけない。
・作業員以外、充電工具や充電器本体、電源コードに触れさせないようにください。
・作業員以外、作業場へ近づけないでください。
けがの原因になります。

2 安全上のご注意

注意

3. 使用しない場合は、きちんと保管する。
・乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、又は鍵のかかる所に保管してください。事故の原因になります。
・充電工具や電池パックを温度が50℃以上上がる可能性のある場所(金属の箱や夏の車内など)に保管しないでください。
電池パック劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
4. 充電器は、注意深く手入れをする。
・充電器の電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は、直ぐに使用を中止してください。修理の際は決してご自分で修理なさらないで、電池パックと充電器と一緒に、本機の性能回復に十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリング&サービスファクトリー㈱にお買い求めの販売店を通じてお申し付けください。感電や短絡(ショート)して発火する恐れがあります。
・マックス指定の純正電源コード以外は使用しないでください。満足な性能が得られないばかりか、感電やショートして発火する恐れがあります。
・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合は交換してください。感電や短絡(ショート)して発火する恐れがあります。
5. 充電器のコードを乱暴に扱わない。
・コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
・コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
・コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。
・充電器の保管時や充電工具のケースへの収納時には、電源コードのコネクタを抜いた状態で保管してください。
感電や短絡(ショート)して発火する恐れがあります。
6. 損傷した部品がないか点検する。
・電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。
7. 充電器の修理は、専門店に依頼する。
・サービスマン以外の人は、充電工具、充電器、電池パックを分解したり、修理・改造は行わないでください。
・この製品は、該当する安全規格に適合しているため改造しないでください。
・修理、メンテナンス、調整は、純正部品以外は使用しないでください。
・充電工具、充電器、電池パックが熱くなったり、異常に気付いた時は、直ぐに使用を中止し、電池パックと充電器と一緒に、本機の性能回復のために十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリング&サービスファクトリー㈱にお買い求めの販売店を通じて点検・修理をお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないばかりでなく、事故やけがの原因になります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

2 安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- 他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

警告

- 安全作業のために：
ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。
1. 専用の充電器や電池パックを使用する。
・指定以外の充電器で電池パックを充電しないでください。
・指定した電池パック以外は充電しないでください。
・指定以外の充電器で充電することは、充電できないばかりか、破損したり、発火・発熱の恐れがあります。
 2. 正しく充電する。
・この充電器は定格表示してある電源で使用してください。昇圧器などのトランス類、直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。充電器の故障の原因や異常発熱により火災の恐れがあります。
・温度が5℃未満、又は温度が40℃以上では電池パックを充電しないでください。
・電池パックは、換気の良い場所で充電してください。電池パックや充電器を充電中、布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
・使用しない場合は、電源コードをコンセント及び充電器本体から抜いてください。感電や火災の恐れがあります。
・充電器の通風孔や電池パック装着口に異物を入れないでください。感電や故障の原因になります。
 3. 電池パックの端子間を短絡(ショート)させない。
・電池パックの端子に金属を接触させたり、釘など金属が入った工具箱や釘袋などに入れたり、雨や水に濡らしたりすると、短絡(ショート)して発煙・発火・破裂などの恐れがあります。
 4. 感電に注意する。
・濡れた手で充電器本体、コネクタ、電源コード、電源プラグに触れないでください。感電の恐れがあります。
・作業場の周囲状況も考慮する。
・充電工具、充電器、電池パックは、雨中で使用したり、湿った、又はぬれた場所で使用しないでください。感電や発煙の恐れがあります。
・作業場は十分に明るくしてください。暗い場所での作業は事故の恐れがあります。
・可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。
爆発や火災の恐れがあります。
 6. 電池パックを火中に投入しない。
・破裂したり、有害物質の出る恐れがあります。

3 仕様及び付属品

商 品 名	
商 品 記 号	JC-925
電 源 (入 力)	AC100V 50/60Hz 290VA
充 電 電 圧 / 電 流 (出 力)	DC14.4V/7.5A DC25.2V/4.5A
質 量	1.4kg
使 用 温 度 範 囲	5℃～40℃
冷 却	ファン付
付 属 品	電源コード (2芯ビニールコード IEC 60320 C7コネクタ)

商 品 名	
商 品 記 号	JP-L91430A JP-L91415A
電 池 種 類	リチウムイオン電池
電 圧	DC 14.4V
容 量	3.0Ah (3,000mAh) 1.5Ah (1,500mAh)
充 電 時 間 (周囲温度20℃時) (充電器JC-925使用)	実用充電 約27分(容量の約90%) 満充電 約40分(容量の約100%)
付 属 品	バックキャップ [短絡(ショート)防止用]
質 量	0.5kg 0.3kg

・上記仕様は改良の為、主要機能および形状等が変更されることがありますのでご了承ください。

4 使用方法

警告

- 指定電圧で充電する。
必ずAC100Vのコンセントより充電してください。指定電圧以外の充電は故障の原因となるだけでなく危険です。
- エンジン発電機や直流電源では絶対に充電しない。
故障の原因となるだけでなく異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- 正常なコンセントを使う。
充電器の電源プラグを差し込んだ時に、ガタがあったり、すぐに抜けたりするコンセントをそのまま使うと加熱による事故の原因になります。このような時は、別の正常なコンセントをお使いください。

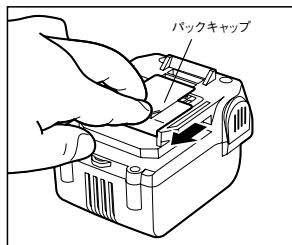
◆充電方法

※お買い上げ時の電池パックについて
お買い上げ時の電池パックは十分に充電されていません。ご使用前に充電器で正しく充電してからご使用ください。

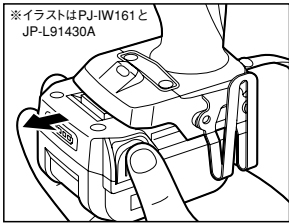
警告

- お買い上げ時の電池パックは十分に充電されていませんが、工具に取り付け、スイッチ操作すると作動する恐れがあるので注意する。
- 電池パックを工具に取り付け、取り外しをする前に、必ず工具のスイッチがロックされていることを確認する。

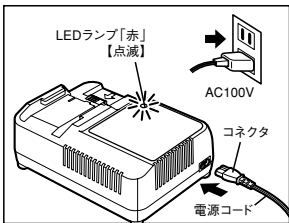
●電池パックの端子部にかぶせてある短絡(ショート)防止用のバックキャップを外してください。



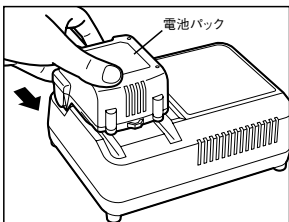
一度使用されて電池パックを工具に取り付けている場合は、工具より電池パックを取り外します。(電池パックの取り外し方 参照)



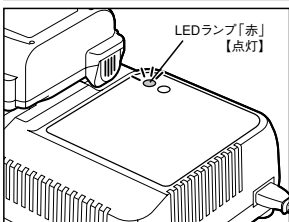
●充電器の電源コードのコネクタを充電器本体に奥までしっかり差し込み、電源プラグをAC100Vのコンセントに差し込んでください。
※この際に、充電器本体のコネクタ接続部分にゴミ等の異物がないことを確認してください。LEDランプ「赤」が点滅し、電子ブザーが2回「ピ、ピ」と鳴り、通電状態をお知らせします。



●電池パックを充電してください。
1.電池パックを充電器の電池パック装着口の奥にあたるまでしっかりとスライドさせます。

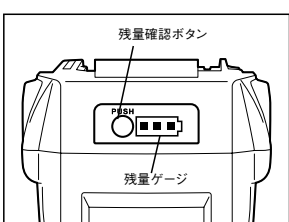


2.電池パックを充電器にセットすると、自動的に充電を開始します。
LEDランプ「赤」が点灯し、電子ブザーが1回「ピ」と鳴り、充電中をお知らせします。



◆電池残量表示について (JP-L91430A・JP-L91415A)
本機は充電中と充電工具の運転中を除き、いつでも電池残量を確認することができます。

●電池残量を確認したい時 (充電中または充電工具運転中以外) に、残量確認ボタンを押してください。



●その時の電池残量に応じて、残量ゲージが点灯します。

	電池残量 0%	電池残量 約0~10%	電池残量 約10~40%	電池残量 約40~70%	電池残量 約70~100%
電池残量の表示方法					
	全て消灯	1個 点滅	1個 点灯	2個 点灯	3個 点灯

注

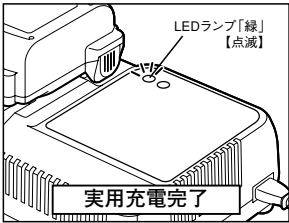
●充電中や充電終了直後、充電工具の運転中は、残量確認ボタンを押しても残量が正しく表示されません。

●残量表示はあくまで目安です。作業負荷や周囲温度によって残量が正しく表示されない場合がありますが故障ではありません。

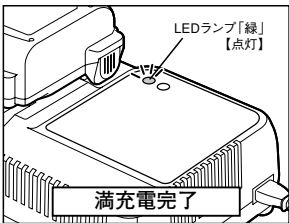
●表示される残量表示は、残量表示機能のある機械側の残量表示と同じ表示にはなりません。あくまで目安とお考えください。

●表示される電池残量は、満充電完了した時に充電された容量を基準にしています。例えば、新品の電池パックと長期間の使用等により劣化した電池パックを比較した場合、同じ30%の電池残量であっても、そこからの作業量は異なります。

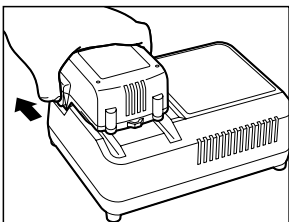
3.LEDランプが「赤」から「緑」の点滅に変わったら実用充電完了です。
LEDランプ「緑」が点滅し、電子ブザーが「ピー」と約2秒鳴ります。この状態で電池パックの容量の約90%充電されています。実用充電時間は約27分です。(充電時間・充電容量は、気温や電源電圧により多少変動します。)



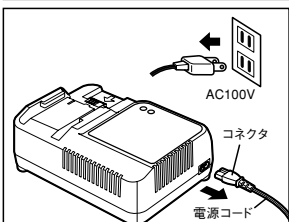
実用充電が完了したら使用できますが、そのまま電池パックを抜かないでよくと、残りの容量を充電し続け、LEDランプ「緑」が点灯 (電子ブザーが「ピー」と約2秒鳴ります) になれば満充電完了 (容量の約100%) です。



●充電が完了したら電池パックを充電器から抜き取ってください。



●電源コードの電源コネクタをコンセントから抜き、コネクタを充電器本体から抜いてください。



◆充電時の充電器のランプ表示について

赤/緑	消灯	充電器通電	通電し、充電開始できる状態です。
赤	消灯	急速充電中	急速充電中です。
赤	オレンジ	ソフト充電中	低温時等に電池の劣化を防ぐ充電を行っています。
緑	消灯	実用充電完了	容量の約90%の充電が完了しました。
緑	消灯	満充電完了	満充電が完了しました。
消灯	オレンジ	待機中	低温もしくは高温の為、充電待機中です。
消灯	オレンジ点滅	充電不可	充電パックもしくは充電器に異常があります。

注

●LEDランプ「赤」と「オレンジ」が点灯した場合：ソフト充電中
・低温時 (約10℃以下) は、充電器・電池パック保護のためソフト充電になり、充電時間が長くなります。
・電池パックの温度が上がると通常の急速充電へと切り替わりますが、切り替わる時間は外気温によって差があります。

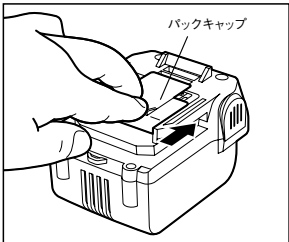
●LEDランプ「オレンジ」が点灯した場合：待機中
電池パックが高温の場合
電池パックが熱を持っている時 (例：工具の連続使用直後や、電池パックを直射日光の当たる所に長時間放置した後など) は、充電器にセットしても電池の保護のため、電池パックの温度が下がるまで充電を自動的に待機します。電池パックの温度が下がると、自動的に充電がスタートします。

電池パックが低温の場合
電池パックが低温の場合、充電器にセットしても電池の保護のため、電池パックの温度が上がるまで充電を自動的に待機します。電池パックを室内など常温の場所にしばらく置いてから再度充電してください。
電源状態が異なる場合
電源電圧が極端に低かったり高かったりした場合、充電器回路保護の為待機中となり充電を開始しません。発電機や延長コードの使用をやめ、電源状態を改善してください。

◆電池パックを長持ちさせるために (保管方法)

警告

●使用後は、工具・充電器から電池パックを取り外し、短絡 (ショート) 防止用のバックキャップを電池パック端子部にかがせて保管する。



注

●工具を使用した直後の電池パックは、放熱させてから充電する。
すぐに充電すると電池パックの寿命が短くなります。

●工具の力が弱くなってきたと感じたら、使い続けるのはやめ、充電する。
無理して使い続けると電池パックが傷み、寿命が短くなります。

●夏季の自動車の車内や直射日光の当たる場所に放置・保管しない。
高温の場所に放置しますと電池パックの劣化の原因になります。理想的な保存環境は10℃~30℃の乾燥した暗所です。

●使い切った状態のまま電池パックを保管しない。
充電が空の状態でも長時間放置すると電池パックの故障の原因になります。使い終わったらすぐ充電してください。

●電池パックを電動工具や充電器に装着したまま保管しない。
微弱な電流が流れつづけて、そのままにしておく過放電状態になり電池パックの故障の原因になります。必ず電池パックを外して保管してください。

◆電池パックの寿命について

正しく充電しても使用回数が著しく低下した場合には、電池寿命がつかたものとお考えいただき新しい電池パックをお買い求めください。

◆リチウムイオン電池の輸送について

リチウムイオン電池及びリチウムイオン電池同梱品を輸送する場合、次の点に注意してください。

警告

●必ずバックキャップをかがせる。
●リチウムイオン電池を輸送する場合には、個々の電池が触れないように分けて強固な包装で梱包する。
●リチウムイオン電池同梱品を輸送する場合には、付属のキャリングケースに入れる。
●輸送会社・航空会社に相談の上、適切な輸送方法で輸送する。

◆リチウムイオン電池のリサイクルについて
リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。寿命の尽きた電池パックは廃棄せずにお買い求めの販売店、もしくは最寄のマックスエンジニアリング&サービスファクトリー(株)へお持ちください。環境の保全と資源リサイクルにご協力をお願いいたします。

警告

●電池パックは短絡 (ショート) 防止のため、端子部 (金属部) に必ずバックキャップをかがせて (絶縁テープを巻いて) リサイクルに出す。



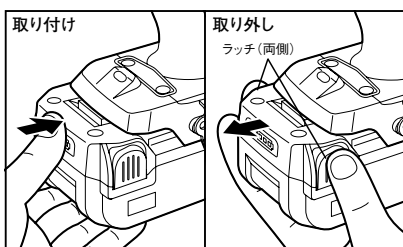
◆電池パックの取り付け、取り外し方

警告

●電池パックを工具に取り付け、取り外しをする前に、必ず工具のスイッチがロックされていることを確認する。
●使用前には、電池パックが工具に確実に取り付けられていることを必ず確認する。
●不完全な状態でと、作業中に電池パックが落下して怪我などする恐れがあります。

・取り付けは、電池パックの溝を工具の溝に合わせ、矢印方向にまっすぐ奥までスライドさせ、「カチッ」と音がするまでしっかりと押し込んでください。

・電池パックを工具から取り外すときは、左右両側にあるラッチを押して、矢印方向にまっすぐ電池パックをスライドして取り外してください。



※イラストはPJ-IW161とJP-L91430A

●LEDランプ「オレンジ」が点滅した場合 (電子ブザーが「ピ・ピ・ピ…」と約10秒鳴る場合)：充電不可
充電できない状態です。この場合は、まずコンセントから電源プラグを抜きます。そして充電器から電池パックを抜き、以下の確認をお願いします。

●異物の確認
電池パック・充電器の端子部に異物が入っていないか確認してください。もし、異物が入っていたら柔らかいものなどで異物を取り除いてください。

●電源状態の確認
電源電圧が高すぎたり低すぎたりする場合、充電器保護のために充電できません。電源状態をご確認いただき、コンセントに直接つないたり、発電機の使用をやめる等して、電源状態を改善してください。

以上を確認・改善してもLEDランプ「オレンジ」が点滅し続ける時は、電池パックの寿命であるか、もしくは電池パックまたは充電器に異常があると考えられます。別に電池パックをお持ちの方は、電池パックを変えてお試しください。それでもLEDランプ「オレンジ」が点滅する場合は、すぐに使用を中止してください。修理の際は決してご自分で修理をなさらないで、電池パック、充電器両方を一緒に、本機の性能回復の為に十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリング&サービスファクトリー(株)へ、お買い求めの販売店を通してお申し付けください。

●満充電した電池パックを再度充電器にセットすると再びLEDランプ「赤」が点灯することがありますが、故障ではありません。しばらくすると、満充電完了の「緑」点灯になります。

●充電器には冷却ファンが内蔵されており、電池パック、充電器の温度に応じてファンが作動する場合があります。温度が下がればファンは自動的に停止します。

●充電時間は周囲温度や電池パックの状態により長くなる場合があります。

●電池パックを連続で充電される場合は、充電時間が長くなる場合があります。

●一度充電が完了した後、次の充電まで充電器を5分程度休ませてください。

◆充電器・電池パックの故障について

次のような状態のときは、充電器または電池パックに故障があると考えられますので、決してご自分で修理をなさらないで、電池パック、充電器両方を一緒に、本機の性能回復の為に十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリング&サービスファクトリー(株)へ、お買い求めの販売店を通してお申し付けください。

・充電器の電源プラグをAC100Vのコンセントに差し込んで、LEDランプ「赤」が点滅しない。(電池パックをセットしていない状態で)
・充電器に電池パックをセットしてもLEDランプ「赤」も「オレンジ」も点灯点滅しない。
・電池パックが高温の場合にLEDランプ「オレンジ」点灯後、1時間以上たってもLEDランプ「赤」が点灯しない。
・LEDランプ「赤」が点灯後、90分以上してもLEDランプ「緑」点滅に切り替わらない。

5 性能を維持するために

警告

●電池パックの点検・手入れの際は、必ず電池パックを充電器から外す。
電池パックを充電器に取り付けたまま行うと事故の原因になります。
●充電器の点検・手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、コネクタを充電器本体から抜く。

◆電池パックの手入れ
電池パック、充電器の掃除にはから拭き、水またはぬるま湯で薄めた中性洗剤を湿らせた布をよく絞ってから表面を拭いてください。ガンリン、テレピン油、ペイント用シンナーなどの薬品は電池パック、充電器を傷めますので使用しないでください。電池パック、充電器内部に液体が入らないように、また、電池パック、充電器を液体に浸けないように十分注意してください。

◆各部取り付けねじの点検
ねじが緩んでいないか点検してください。もし、緩んでいたら締め直してください。

◆作業後の保管
●作業後は、高温にならない乾燥した場所に保管してください。お子様の手の届く範囲や落下の恐れがある所は避けてください。充電器JC-925を保管、収納する際は、電源コードを抜いた状態で保管、収納してください。
●電池パックを長持ちさせるために、長期間 (6ヶ月以上) ご使用にならない場合は、下記のご注意に注意して保管してください。

注

●充電してから保管する。 ●温度が50℃以上の場所では保管しない。
●-20℃以下の場所では保管しない。 ●直射日光の当たる場所には保管しない。
●結露するような温度変化の大きい場所での保管はしない。
●湿度の高い場所に保管しない。 ●水を付着させない。
●湿度の低い乾燥した場所で保管する。 ●運搬・移動時は落下や大きな振動を与えない。
●短絡 (ショート) を防ぐために金属物に接触させない。
●電池パックは必ず工具・充電器から取り外してバックキャップをつけて保管する。

【アフターサービスについて】

●充電器の修理、メンテナンス、調整は純正部品を使用して行わなければなりません。修理の際は決してご自分で修理をなさらないで、電池パック、充電器両方を一緒に、本機の性能回復の為に十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリング&サービスファクトリー(株)へ、お買い求めの販売店を通してお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理を行いますと、事故やけがの恐れがあります。